

2024年6月27日

第61期(2023年度)決算公告

東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 JR東日本リネン株式会社  
代表取締役社長 武藤 康司

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	1,838,355	流動負債	626,867
現金及び預金	1,213	買掛金	220,917
売掛金	458,539	リース債務	11,725
商品	10,181	未払金	188,922
仕掛品※	18,751	未払法人税等	1,470
前払費用	22,674	未払消費税等	40,723
未収金	553	未払費用	80,482
短期貸付金	1,318,420	賞与引当金	69,145
その他	8,041	その他	13,482
貸倒引当金	△ 19		
固定資産	1,370,359	固定負債	280,478
有形固定資産	1,192,767	リース債務	34,206
建物	109,357	退職給付引当金	246,272
建物附属設備	99,415		
構築物	12,109		
機械装置	213,776		
車両運搬具	0	負債合計	907,345
工具器具備品	4,031		
土地	674,372	【純資産の部】	
建設仮勘定	37,950	株主資本	2,301,368
リース資産	41,755	資本金	100,000
無形固定資産	14,561	利益剰余金	2,201,368
ソフトウェアその他	14,561	利益準備金	25,000
投資その他の資産	163,030	その他利益剰余金	2,176,368
繰延税金資産	115,758	設備積立金	250,000
その他	47,871	別途積立金	750,000
貸倒引当金	△ 599	繰越利益剰余金	1,176,368
		純資産合計	2,301,368
資産合計	3,208,714	負債・純資産合計	3,208,714

※ 前期までの表示は「未成業務支出金」

## 注記事項

### 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法に基づく原価法によっております。

##### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

ア 商品

最終仕入原価法に基づく原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

イ 仕掛品 (注:前期までの表示は「未成業務支出金」)

個別法による原価法によっております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法によっております。ただし、1998年4月1日以後に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

##### ② 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

##### ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

##### ④ 長期前払費用

均等償却によっております。なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### ② 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

#### ③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額(簡便法による見込額)に基づいて、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しております。

### (4) 収益及び費用の計上基準

当社は、リネンサプライ事業を行っております。当社は、顧客との契約に基づきリネン用品を洗濯・納品・賃貸・回収する履行義務を負っており、当該履行義務は、リネン用品の引渡時点で充足されます。

この事業から生じる収益は、顧客との契約に従い計上しており、取引価格は顧客との契約による対価で算定しております。

### (5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

### (6) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 2 重要な後発事象に関する注記

#### (多額な資金の借入)

2024年3月29日開催の第377回取締役会の決議に基づき、同年5月1日を借入実施日として、下記の条件により、CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)長期借入を実施しております。

(1) 資金使途 : 群馬明和工場(仮称)の建物及び機械設備工事等の支払い

(2) 借入先 : 株式会社JR東日本マネジメントサービス

(3) 借入額 : 2,000,000 千円

(4) 借入金利 : 固定金利 0.94%

(5) 借入期間 : 2024年5月1日～2029年4月30日(5年間)

(6) 借入条件

① 利息の支払い 6月、9月、12月及び3月の末日

② 元金の返済 6月、9月、12月及び3月の末日に1回あたり25,000千円の元金を返済する。  
ただし、初回の元金返済日は2025年6月末日である。

3 当期純利益額 23,823 千円